

## 令和元年度 第3回 住田町総合計画推進委員会

**日時** 令和2年2月28日(金) 19:00～20:30

**会場** 役場町民ホール

**出席** 欠席 小野香江委員、佐藤浩美委員、千葉孝文委員、佐々木康行委員、菊田勝委員、  
佐藤元幸委員、佐藤晃子委員

**内容** 進行：企画財政課 横澤課長

1. 開会 進行が開会

2. あいさつ

・神田町長

皆さまおばんでございます。今新型コロナウイルス対応でお忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。

令和2年度からの5ヶ年計画の総仕上げの部分で、ご意見をいろいろいただいて仕上げたいと思っています。令和2年、間もなく新年度となるわけですが、豊かな水と緑に生まれ、安らぎとにぎわいが調和する、共生の町づくり、しっかりつながっていきますように、我々も役場一丸となって推進をして参りたいと。そのための中身に對してのご意見を、本日はよろしくお願ひしたいと思います。

・大杉委員長

既に町長、課長からもお話が出ているように、新型コロナウイルスで大変不安を抱えている中、また年度末のお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

今日が令和元年度第3回ということで、新しい総合計画を決める最終的な場ということになりますので、皆様のご協力を得てですね、進めさせていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

3. 協議 議長：大杉委員長

(1) 住田町総合計画について

・事務局が配布資料に基づき説明

**大杉委員長** はい、ありがとうございました。それでは少し長くなりましたけれども、ご説明いただきました総合計画の案と、それからパブリックコメントですね、ご意見とその考え方として示された検討結果の案をいただきましたけれども、こちらにつきまして、ご質問ご意見、どこからでも構いませんのでいただければと思うんですけども。

**金野副委員長** お疲れさまでございます。大変な作業だったと思ひます。KPIですけども、

全体を見まして、これ KPI って 1 つの物差しかなと思うんですけども、ちょっと物差しとしてよく分かりにくいものが入ってるなというところで、例えば、教育のところの意欲をもって自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合とかっていうのをどのように測っていくか、そういうのが何点かあるかなと思うんですけど、考えているのかどうかっていうのをお聞きしたいと思います。

**高萩係長** 今ご指摘のあった KPI、上から 3 つ、意欲をもって自ら進んで云々、それから体力運動能力が標準以上の云々、それから学校が楽しいと思う児童生徒の割合っていうのは、調査の名称は忘れてしまいましたが、県内で実施をしている共通の調査がありまして、その結果でわかる割合になります。県内で同じ調査をしているので、他の市町村との比較もできるというところもあります。

**大杉委員長** 今の KPI に関してですけども、可能な限り分かりやすく、それと同時に他との比較、全国であるとか県内の自治体だとか、そういうものがあるほうが望ましいというふうにも思われると思いますので、これ実際にこの計画を運用していく中でですね、実績としてどうなのということを、町としてどういう結果なのかということと同時に、比較対象と併せてお示しいただくような形になると思いますが、その段階でなるべく分かりやすく示せるようにするってことが求められるかなというふうにも思います。

他何か皆さんからいかがでしょう。

**高橋委員** 医食住の医のところ、事業による効果、医療費の抑制と介護サービス費の低減というところなんですけれども、これは受診率、慢性疾患の受診行動を上げる目的で KPI 設定されていると思うんですが、この効果の判定っていうのは、どの項目をもって抑制できた、介護費を低減できたっていうのを、どの項目をお使いになって評価されるか教えていただきたいです。

**高萩係長** 事業の評価については KPI に書かれたもので評価していくんですけども、事業による効果については、目指すべき方向性というか、そういうものをここに記載させていただいてまして、具体的に何の数字をもって評価するかというのは、現時点ではまだ設定はしておりません。

**高橋委員** 私事なんですけど、夕張の財政が破綻した時に、医療費がどういうふうに変化したかを私調べてみたんですけども、破綻したからといって医療費が高額になったというより、むしろ、何を言いたいかといいますと、やっぱり医者がいない、病院が町からなくなったというところで、今町長さんが私達に、町から示していただいている在宅医療が進むことで医療費が抑制できたというデータがあるんですね。それは高齢者の介護費、医療費を比べて出しているデータでした。であれば、そちらの国民健康保険の医療費でこの KPI を達成した場合の変動、どれくらい下がったのか見れるのかなとは思ったんですけども、私も 1 年間すみちゃんを運営してみて、どのくらい立ち上げなかった時と立ち上げた時で医療費がどのように下がったかを、国民健康保険の医療費で見たいなと実は思っていたので、皆さんが何をお使いになるのかなと興味があって。

あと、私の勝手な構想なんですけど、住田はやっぱり住田テレビさん、これは使える、使わないわけにはいかないなとちょっと狙ってるんですけど、健康に関する情報発信、相談、これはですね住田テレビさんと連携して、より確実な健康情報を発信していきたいなと、すみちゃん、とを考えていて、そういうのは可能なのかなというのをちょっと。毎週じゃなくていいんですけど、月に何回か、糖尿病になったらどういうふうになりますよとか、なんていうんですか、「だっけ」っていう噂じゃなくてですね、確実な医療情報を提供していくっていうのをちょっと考えているので、構想を話したんですけども。

**高萩係長** 重点施策の各項目については、ちょっと今英語表記になっていますけれども、何々プロジェクトというサブタイトルをつけていますけれども、そのプロジェクトとしていろんな方に入っていただいて、それもいいんじゃないかなと今のお話聞いて思いましたので、来年度以降、進める際にはぜひ一緒にやっていただけたら大変心強いなと。なので、住田テレビなんかを通して情報発信していくっていうのは、その中での取り組みとして可能なかなと思います。

**高橋委員** ぜひ健康介護テレビ番組みたいなもの、我々すみちゃんだけでなく、社協さんからの介護予防とかですね、実際誰に言えばすみちゃんに来てもらえるんだろうっていうお問合せもあるので、そういうところでも情報を発信できて、お一人で悩まない町に、そして安心してもらえるように情報発信、住田テレビさんを使わせていただければいいなと思いました。

**大杉委員長** 今ちょっと事務局からありましたけれども、重点施策3つについて、それぞれなぜ英語表記になっているんですね。ちょっとここは、元々の例えば健康町づくり推進事業ってちょっと硬いところなので、Sumita Wellness town Project とされたんですけど、これは英語はあってもいいんですけども、カタカナ表記なり何なり、もうちょっと分かりやすくしてもいいかなということと、もう1つとても大切なことは、これ進めていく時に、1つは例えばこの健康町づくり推進事業でいえば、保健福祉課、教育委員会、企画財政課というふうに関係する部署が挙げられていますけれども、きちんこの3つの所管が連携するのは当然のこととして、今回このメンバーの中にも健康、福祉、医療関係の方々が入られておりますけれども、そうした役所外の方々との議論できる場をですね、ぜひ作って、そこでも今出たような健康番組づくりだとかそういうようなアイデアを出してもらって、必ずしもそれすべてが行政がやる仕事だけではなくて、民間として進めていくのにも、こんなようなことしたいんだけどというのを行政がサポートするだとか、そういうような形でですね、様々な主体がお互いに支え合う形でですね、この計画自体が共生の町ということでもあるんですけども、より豊かな施策になっていくように、特にこの重点施策と言っていることについてはですね、そういうような取り組み方をさせていただきたいなと思っておりますし、本当はそういった類を一言ここにも入れてほしいくらいのところでもあるんですけど、ぜひそれを実践していただくということで、町長も今日は最後ということでおられますので、よろしくお願ひしたいというふうにしてお

りますが、いかがでしょうか。

**神田町長** その通りだと思います。

**大杉委員長** ぜひよろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。

**藤井委員** 7ページの下の方、子供の数は1学年40人を確保とありますけれども、これは2校を維持するということは、これは引き続きということですか。というのは、この間も小学校で統合の話がちょっとあって、資料が出たので、多分そっちの方向に話が進んでいくのかなというふうに感じたんですけども。

**高萩係長** 7ページの部分は現在の計画の目標になってるんですけども、新しい計画のほうでは、小学校の2校を維持するところは明記してません。やはり、子供の数が減って、町として2校は維持したいというところはあるんですけども、とはいえ現在の計画でいろいろな施策をやってきても、子供の数が減ってきているという流れはなかなか止まっていないのが現状でございまして、2校を維持するというのを絶対条件のような目標として掲げるのは、子供達の教育環境というのを考えた場合に、なかなか続けていくのも難しいのかなというところもございまして、35ページの学校教育のところでは、学校統合も含めた教育環境のあり方について検討を進めますというところを今回新しく入れたところですよ。

**多田委員** ちょっと理解ができなくて質問したいんですけども、今各団体の統廃合とかスマート化というのを図ろうとしているところでございましてけれども、KPIのところでは新たな住民活動団体の設立5団体以上というのは、これはまた新たな団体のことですか。それともスマートにした新たな団体をとということでしょうか。

**高萩係長** ここにあるのは、新たな住民活動団体の設立というのは、その上のところに記載してありますけれども、団体等の統廃合や多様な団体等との連携を視野に入れた検討を進めますという部分に対応するKPIではなくてですね、さらにその上の、任意の住民活動団体に取り組みに対して支援しますというところのKPIになっています。総合戦略に関するアンケート調査をとっても、やはりそれほど圧倒的に多い数ではないんですけども、特に女性の方を中心に、いろんな役職が多くてなかなか自分の自由な時間が取れないといったご意見をいただいているのも事実でございまして、団体の統廃合というのは必要なだろう、活動は引き続きやっていくんですけども、団体の数はそんなにたくさんいらないよなというところも感じますので、そういう統廃合はもちろん必要なのかなとは思いますが、一方でやっぱりこの町のために何か活動したいんだっていう思いを持った方もいらっしゃると思いますし、そういう方にもっと活躍してほしいなというところがありましたので、この新たな住民活動団体の設立5団体以上というKPIを設定したところですよ。

**多田委員** 5団体という5という数字をもってきたのは、何を根拠に5という数字になったのでしょうか。

**高萩係長** 今町の補助事業で、みんなのできる町づくり事業というのがあるんですけど

も、そこでは毎年新規に活動を始める団体というのは、最大でも3団体くらいかなというのを想定して予算はとっているんですけども、結論からいうと5団体というのに特に根拠はないというのが事実です。1年に1団体出てくると、5年間で5団体というふうにしたところです。

**多田委員** ありがとうございます。また団体が増えるのかなって、ちょっと危惧したところがあったので。ありがとうございます。

**神田町長** 町長という立場ではなくて、考え方として意見というか。例えば、少子高齢化を含めて、既存の団体がありますよね。おっしゃる通り負担になってるっていうことも含めて、実は今団体の活動の意味合いは何なんだろうっていうことも意外と伝わってなくてですね、昔からやってるからやってみたいなところもあったりとか、そこいら辺の意味合いも含めて整理も必要なんだろうと。ただ、今の団体の取り組みっていうのは、考え方ですよ、まさに一律というか全員に対して縛りがかかるような取り組みだと、好き嫌いもありますから、この取り組みは意味も分からないとやらされ感での組織になっている可能性もあるだろうと。そうした時に、新たな団体、取組みというか、このスポーツでもいい、これは好きだよっていう、みんなに強制するんじゃなくて、好きなものに特化した、だったら私も参加したい、例えば体育系は得意だけど文化系はできない、文化系は好きだけど体育系が嫌いみたいな、そういう中での団体っていうのも出てきていいのかなっていう、そういう考え方もあってもいいのかなって思いました。

**大杉委員長** よろしいですか。その他、どなたかいらっしゃいますか。

**奈良委員** 今のお話を聞いていますと、テーマ型で活動している団体、スポーツの団体や芸術の団体とかいろいろありますけど、そういうのって例えば37ページの11番に該当するような、そういう活動団体のことをもしかしたら言っている可能性もありそうだなということで、例えば(1)芸術文化の中に、KPIの中に、そういう芸術文化をやる団体が何団体とか、そういう書き方でももしかしたらいいのかなって思いました。一方で、この地域コミュニティの住民活動の中で言っている団体っていうのは、そういうテーマ型の団体というよりは、住民の助け合いのための団体というか、そういう団体であれば、それが5団体立ち上げるっていうのはちょっと大変なんじゃないかなっていう誤解がもしかしたら生じるんじゃないかなって思いました。感想です。

**高萩係長** 確かに住民活動団体という言葉がうまく伝わらない原因かなと思いますので、その点については少し検討したいと思います。

**奈良委員** もう1つ、これ全体的にちょっと言えることなんですけど、KPIの目標値を示すのと同時に、今いくつなかっていう数値が欲しいかなっていうのは率直に思いました。今現時点これだから、頑張っってここまでにしましょうっていうのがあれば、どれくらい頑張ればいいのかってイメージしやすいのかなって思いました。

**大杉委員長** 今の点、全部やるとまた大きく変わっていくことになるかもしれませんが、簡単などころをちょっと補っていただければなと思いますけど、今の住民活動のところでは

けれども、住民活動団体っていう言葉自体は住田町では定着した言葉として、例えば先ほど言われた団体に助成するような補助金だとか、そういうところでは住民活動団体っていう使われ方をされてるんですか。

**高萩係長** はい。

**大杉委員長** そうですか、わかりました。それでしたらいいんですけども、ちょっとこの言葉のもし何か、既にそちらの補助金の要綱であるとかそういうところに定義があるんだとすれば、ちょっとそれを補っていただくといいかなという気がしますね。ちょっとついでに聞かせていただくと、同じ住民活動の中で 36 ページのところ、2 つめのポツのところ、地域協働組織っていう言葉が出てきているんですが、これも既に住田町では定着した言葉としてある、庁内、行政の言葉としては定着しているということでもいいですか。

**高萩係長** はい、一般的には地域運営組織と言うと思うんですけども、うちのほうでは小さな拠点づくり事業の中で地域交付金を交付しているんですが、その中では地域協働組織という名称を定義して使っています。

**大杉委員長** はい、わかりました。あとついでにちょっと私のほうから。先ほどご説明ありました 37 ページ(2)の住民交流のほうなんです、これ住民交流のところ、この KPI、社会増で本当にいいのかっていうと、ちょっとここは感覚的に違うんじゃないかなって気がするんですけども、なかなか何で示すのかは難しいですが、確かに移住者も含めてここに住民交流が、移住者の移住人口っていうんですかね、その話と、交流人口、最近関係人口っていういろいろ使い分けがある中で、ちょっとこの KPI 社会増でこういう挙げ方ってちょっとどうかなって思うんですが。やっぱり工夫の余地、いろいろ検討されてなぜこうなったかがもう少しご説明いただけるとありがたいんですけどもどうでしょう。

**高萩係長** ここについては、結論から申し上げますと、適切な KPI が見つからなかったというのが正直なところ、関係人口何人というのを KPI にしようかというふうには当初は考えたんですが、ちょっとまだ、こちらの内部のほうで、関係人口の定義づけとか、明確なものがまだございませんでしたので、それがちょっと現段階としては KPI として、数値目標として定めるにはまだ準備が整ってないなというところと、それから事務的な話にはなるんですが、県内の市町村共同で取り組んでいる、首都圏から移住して来た方に支援金を交付する事業がございまして、その事業を実施するために、そういった移住の関係を進めますとか、そういった KPI を設定する必要があるというところも、ちょっと実務の部分ではございまして、この KPI にしたところです。

**大杉委員長** むしろそういうきちっと使いやすいように、この KPI が先にありきっていうところなのかもしれませんが、(2)のタイトルとして住民交流じゃないんじゃないですか、ここは。こちらを変えないといけないかなって気がしますので、そこは変えていただいて、そこには S マークが入っていないんですが、これはどちらかというところと総合戦略に関わってくるかと思うんで入れたほうがいいかと思うんですが、いかがでしょう。

**高萩係長** ご指摘があった通り修正したいと思います。

**大杉委員長** すいません、ちょっと私のほうから話しましたけど、何か他に。本年度最後で、この計画書固めなければいけませんので、細かなことでも結構ですのでいただければと思うんですが。

**吉田委員** 全体通して、まず細かいところまで詰められているなというふうに感じました。ただ、一番大事なのは実行していくというところで、45 ページですね、推進方針のところがありますけれども、ここには施策の評価をこの委員会において検証するとか、そういうことは書いてあるんですけども、あとは内容を公表するというのも書いてるんですが、実際に誰がどのような形で推進していくのかというのが、その推進体制というのが明記されていないような気がします。検証のほうが中心の推進方針というような。29 ページのところですね、重点施策のところ、各推進事業は担当課どこですよっていうのはあるんですけども、例えば計画全体の体系図は最初にあるんですけども、推進体制の体系図もあるとちょっとわかりやすい。こういう事業はどこの課がやります、責任もってやりますよというような、そういうようなところもあればもう少しいいのかなっていう。いずれこうする上で、責任を持たせて進めていくというようなことが必要だと思いますので、そこら辺も少し考えていただきたいなと思います。

**高萩係長** 役場の担当課を体系図のように示すのはできると思うんですけども、推進体制のポツの 3 つ目に書いています、住民との協働というのをどう体系図として書いていこうかなというのが、今ちょっとぱっと思い浮かばなかった部分ございますので、今後検討させていただきたいと思います。

**大杉委員長** よろしいでしょうか。では、じゃあどうぞ、次の方。

**泉委員** 39 ページの 17 番、エネルギーなんですけど、これに関しては、今風力発電をやっているんですよ。今までも木質バイオマスエネルギーなどが再生可能エネルギーに含められると思うんですが、今度はどのようなものをお考えでしょうか。

**横澤課長** 再生可能エネルギーにつきましては、住田町は林業の町ですので、木質バイオマスエネルギーを町が主体的に進めるという計画で方針を出してございます。先ほどお話のありました遠野のところの境に風力発電というのは、民間事業者が設置するものに対して町が協力するというような形で現在進めております。結論から言いますと、木質バイオマスエネルギー以外のエネルギーについては、民間事業者さんの参入が町にとって有益な場合に町と協力して行うというようなスタンスで考えております。

**大杉委員長** よろしいですか。いかがでしょうか。

**高橋委員** ちょっとずれてたら申し訳ないんで教えてください。私は町外から来ている人間として、本当に自然が豊かで、私は気仙大工が大好きでこの景観が大好きなんです。ただ、今私も住む場所を探しております、空き家ゼロと掲げている KPI ですが、私将来的にはここに移住しなくてもいいので、研修場所を作りたいなと思っています。あと、期間を決めて外から看護師を呼んで、例えば 3 ヶ月とか 1 年だけでも、滞りなく看護師を呼びこみたいという考えを持っているんですね。その時に、住田に住んでもらう場所って

いうのに、私は本当に困っていて、というのは、若い方は今水洗のトイレじゃないと嫌だ、そして虫が出る所が嫌だって言われてしまう。ただ、意外にですね、若い方はコンビニがあればいいとか、買い物をする所があればいいっていうのはないみたいなんです。何か面白い事をやっているっていう発信があって、なんかワクワクするっていう気持ちがあると住んでくれる、来てくれるっていうのを教えてもらったので、それは十分住田はあると思っっているんです。私は本当に住んで楽しくてですね、皆さんに支えてもらっているんで、ただ住む場所っていう時に、申し訳ないです、高かったり、一人住まいには大きすぎたり、古いとどうしても寒かったり暑かったりしますので、気仙大工の魅力的な建物がせつかくあるのに、正直建物の割には高い、すいません高かったりすると、三陸道ができたためにですね、町内を出なきゃいけないのかなって私正直考えているんです。それが足りないなというふうに、交通が便利になっただけに町外に出てしまう、魅力があっても来てもらえないっていうのを痛感しているんですね。なのでさっき移住者への支援っていうのがありましたが、これ企業努力でですねもちろん進めていかなきゃいけないと思っっているんですが、空き家の取組みについてどんなふうにお考えなのか、教えていただければ今後のヒントにしたいなというふうに。

**高萩係長** 34 ページの住環境の部分の KPI でよろしかったですよね。こちらの KPI については町営住宅の空き戸数ゼロというもので、町営住宅を効率的にとか適正な戸数の管理をして無駄な住宅を生まないとか、そういうところの KPI としてゼロとしたところ。今お話あった通り、住む場所がないというのは、うちの課で空き家バンクも担当しておりますので、それは重々痛感しているところなんです。最近の取り組みでは、空き家の所有者の方から町が借り受けて、先ほどもお話いただきました水回りですとか断熱といった辺りの改修を施した上で、住みたい人に、サブリースのような形で貸すという事業もやっておりますし、それから住環境の個別計画のところに住生活基本計画という、これまだ現在策定中のものなんです、その中ではやはり不動産業者が町内になくて、不動産に関する情報が個別のツテでしか情報が入手できないということが課題の一つかなと考えていますので、不動産業者さんに事業所を構えてもらうのが一番なんですけれども、それが叶わなくても何かしら不動産情報が流通するような仕組みがこれからできたらいいなというふうに考えておりますし、その高いというのも、やっぱり知っている人の中で相対取引みたいな形でやっているのが適正価格にならない一つの要因かなと個人的には思っている部分もありますので、そういった情報が流通すると、あそこの家はなんぼで売れたっけとか、そういう情報が流通してくると価格面も、今のあまり適正ではないかもしれない条件を提示されるといったことも解消されてくるのかなと考えています。

**大杉委員長** 今のご指摘の部分で言いますと、この住環境の町営住宅の空き戸数を KPI として入れるかどうかっていうのはちょっと、あるかなって気がしますね。これはこれとして、町としてどう町営住宅を管理するのかっていうのは重要なことではあるんですけれ

ども、住環境っていうテーマではちょっと指標としてはどうなのかなと。今言われたように、移住希望者が入れるような住宅をどう形で用意するかとか、そういう関連のほうの指標があったほうが分かりやすいのかもしれないですね。それがなかなか作れないとしても、ちょっとこの町営住宅、もちろん回転よく埋まっていくほうがいいに決まってはいるんですけども、ここの指標としてはちょっとどうかなっていう気がするんですけども、どうでしょうかね。少し検討していただければいいんですが。

他にいかがでしょうか。

**金野副委員長** 先ほど吉田委員からもお話があったように、ちょっと私この計画っていうのが、KPI 云々があっても、少しワクワクしてるところがあるんですよ。5年後、これに向けて町がどんなふうに取り組んでいくのかなっていうところに期待する部分も大きいんですけども、それはやっぱり5年間私達に見えない形でいって、5年後KPI どうだった、うまくいった、だめだったっていうものでは、やはりだめかなっていう。この推進方針のところにはいくらかはあるんですけども、行政に求めたいところは、明確にきちっと、例えば1年後とか2年後とか3年後というような形でこれを、KPI のものをこれをやっていくってことじゃないですよ、この推進方針の中のモニタリング的なものをきちっとこのくらいの期間にやっていくっていうような明確なものを出していただいて、これはどのくらい進んでいるとか、この辺ちょっとうまくいかないの何か住民からアイデアを欲しいといったような動きが見えるような形にさせていただくと、すごくワクワク感も5年間持続できるんじゃないかなと思っています。あと、関係機関とか住民もこの中に入れるのが難しいような話もされましたけど、これがあって、ちょっと前後してしまいましたけども、保健課のほうの計画であったり、あとはそれを受けての、私社協なんですけど、社協の5ヶ年計画っていうところもあるので、そういうところをうまく協働していければ非常に希望を持てるかなっていうところもあります。

**高萩係長** KPI のモニタリングというお話いただきましたが、この推進委員会、委員の皆様には5年任期という委嘱状をお渡ししているところですが、今後この計画の期間の中でですね、毎年このKPI とか人口の動態がどうだったというところを皆様にご確認をいただいて、そこでうまくいってないような部分があれば、ここがこうしたほうがいいんじゃないかといったようなご意見なんかも推進委員会の中でいただきたいと考えています。その中でKPI の進捗もご確認していただければと思います。

**大杉委員長** この推進委員会は、前はちょっと名称は違ったんですけども、これ今回の委嘱、本年度から総合計画推進委員会という名称になって、その総合計画推進委員会はこの推進体制に入っているんですけども、前の体制の時もそうでしたが、最初に計画を定めた後、翌年度からは計画の進捗状況についてご報告いただく、事務局でまとめたものをご報告いただくと同時に、我々がそれに対してご意見申し上げるという場で運用してきたというところがありますので、それは最低限今後続けるというふうに考えておりますので、その点また今後のスケジュールにも関わってくるので、まだその点は来年度以降のこ

とは決定はしていないんでしょうけれども、そういう形で進めていくと。それに加えて、先ほどもあったように、特にプロジェクトみたいなものについては、どういう形で進めていくのがいいかっていうことも含めてですね、ちょっとお考えいただき、また皆さんのほうからご提案があれば出していただくのいいのかなというふうにも私としては思っています。

他にいかがでしょうか。パブリックコメントなどもいただいておりますが、こちらも含めて何か気になる点とかも、もしありましたらいただければと思いますけれども。だいたい出尽くした感じでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしますと、協議事項としてはこの総合計画についてということですので、いただいたご意見を踏まえて最終的な調整をしていただくこととなりますが、会議はこれで最後ということになりますので、その修正してまとめたものについては、皆さんに1回投げることには難しいですか、それくらいはできますかね、こんな形になりましたっていう形で。なかなか難しいでしょうかね。そうしますと、大変恐縮ですけれども、今日ご議論いただいたこと、町のほうでもいろいろ調整していただかなければいけませんので、そのまま反映できるかっていうところもご検討いただいた上で、大変恐縮ですが、最終的な報告案については委員長一任にさせていただいて決めさせていただくという形を取らせていただくと助かるんですが、よろしいでしょうか。(会場からは、との声) ありがとうございます。ではそういう形で、だいたいご意見いただいた中では、ベースではこの案で皆様よろしいということだったかと思っておりますので、細かな所は少し修正が入ることでご了解いただければというふうに思います。

では協議事項(2)その他になっておりますけれども、これについては事務局としては何かございますか。よろしいですか。大きい4のその他については。

#### 4 その他

**高萩係長** 本日の会議をもちまして本年度の推進委員会は最終となります。この後の計画の決定までのスケジュールについてですが、もちろん時期的にはまだ決まっていませんが、手順としては町長の諮問機関であります町勢振興調査会という会議体がございますので、こちらに諮問してご意見いただくという場があります。それを経まして、最終的には町長の決裁をもってこの計画は決定するという形になります。ですので、3月中、日にちはまだはっきり決まっておりますが、3月中には最終的な決定をしておいて考えております。まだ日にちございますので、何かお気づきの点ございましたら、私のほうまでお申し付けいただければというふうに思います。

それから計画が決定になりましたら、今度は来年度からはその進捗の検証というのを推進委員会をお願いをしたいというふうに考えております。会議については、年間多くても2回程度、通常ですと年2回程度の会議を予定しています。先ほどのKPIの進捗状

況ですとか、各担当課での取組み内容などをご報告させていただいて、それに対してご意見いただくというような場になります。以上今後の予定となります。

**大杉委員長** それでは本年度最終回ということもありますので、皆様に、各委員一言で結構ですので、いただければと思います。紺野委員からよろしいでしょうか。

**紺野委員** 今年初めて参加したんですけれども、結構難しいこともいろいろ多くてですね、自分の仕事とかに関わっていることだとすごくわかりやすい、その他のことに関してはやはり知らないこととか難しいこともあって、全部が全部意見を出すっていうのはすごい難しいなと今回感じました。自分が関わっていることっていうのはしごとの関係とか観光なんですけれども、今騒いでいるコロナウィルスにしても、GDPが下がったことにしても、流動的に変化が目まぐるしくて、そういうところを注視しながらいかなきゃいけないっていうのをすごい難しいなと思いながら聞いてました。以上です。

**藤井委員** なかなか難しいこともあったんですけども、なかなか意見も出せなかったなど、ちょっと反省しています。その中で、これから具体的な取組み方とかあると思うんですが、この間有住中学校の活動報告会があって、その中で生徒数が38かな、という中で、地域創造学っていうのやってますよね。その中で、1人1人がテーマをもって、住田町の産業の現状とか、特産品をこう売ったらいいんじゃないかとか、いろいろ私達が思いつかないことを言ってたんです。だから、ああいうのが、地域創造学は来年も続くんですよ、これ終わったらこれなくなるのかなと思ったら、なんかもったいないなって思ったので、ああいう生徒たちの意見を取り入れるっていったらちょっとあれかもしれないですけど、ああいうの参考にしてやっていけたらいいんじゃないかなと感じました。

**水野委員** 私もなかなか内容が難しくてですね、ちょっと発言のほうが少ないで大変申し訳ございませんでした。私も藤井さんと同じくですね、中学校と小学校に子供がいて、そういう地域創造学を勉強したり、最後みんなに発表するんですけども、正直ずっと住田町に住んでるんですけども、全然わからないこともあったんです。逆に子供達の方が勉強して十分身につけてるっていう感じが見えましたので、地域創造学は続けていってほしいと思いますし、もしよろしければ親子でやってもいいんじゃないかなという感じに見ておりますので、よろしく申し上げます。以上でございます。

**泉委員** 先日、下在のほうで交通事故がありまして、ご高齢の方が横断している時にはねられたっていうことなんですけど、これからどんどん住田も高齢化社会が進んでいくと思うんですけど、高齢者に優しい住田になっていけたらいいと思いました。

**多田委員** 簡単な感じで引き受けて参加させていただいたんですけども、かなり私の頭では難解なことが多くてですね、とんちんかんなことを言ったりしたかもしれません。立場としては住田町の婦人部という立場で参加させていただいたんですけども、仕事寄りの立場で物事を見るのが多くて、婦人部として意見がなかなか出せなくてすいませんでした。この5年間ですか、はい、よろしく申し上げます。

**金野副委員長** 住田が好きなので、良くなってほしいなという、そういう思いだけです。以

上です。

**奈良委員** この総合計画の会議の場は5年くらいになるんですかね。何となく、だんだんと住田町変わってきてるんだなと思います。この計画全部やろうとすると大変だし、このKPI 通りいってないものも多分あると思うんですけども、何となく感覚としては、なんか楽しい町になってきたんじゃないかなというふうに思っているんで、これ住民達がお手伝いしなきゃいけないところもあるだろうと思いますので、そこは私達も一生懸命頑張ったらいい町になっていくんじゃないかなと思いますので、これからもよろしく願いします。

**高橋委員** 先ほどは最後だと思っていっぱいしゃべってしまいました。私がこの委員会を引き受けた時に、まさに医食住の医のところなんだなと、自分に言い聞かせて頑張んなきゃいけないなと、参加させていただきました。すみちゃん間もなく1年経とうとしていますが、町民の方からすみちゃんできてよかったとかですね、帰ってこれたありがとうという言葉をかけていただけるようになりまして、医のところは全力をもって頑張っていきたいと思っていますし、私は本当に内陸に行かなくても気仙で住みたい町で最後まで遂げられるようになれると思っています。なれると絶対と思っています。そのためには、私の知識、人脈、総動員して住田の方々、気仙の方々を支えていきたいと思っていますので、今後ともよろしく願いします。

**吉田委員** この計画をまた住民の皆さんによくわかっていただいて、いい町、共生の町作っていければいいかなと思います。あと立場上、産業振興のほうを力を入れていただきたいと思っています。以上です。

**大杉委員長** はい、ありがとうございます。本年度最後ですので、まだこれからがスタートということになりますので、よろしくお願ひしたいと思っています。今聞いていて、やっぱり難しいと思われた方、そうだと思うんですですね。逆にわかっているつもりになっちゃいけないと思うんです。わからないことはわからないということで、ぜひこの場でどうということなんだろうっていう疑問をぶつけていただいていいかと思っていますので、その点よろしくお願ひしたいということと、それから地域創造学、お二人出されましたけれども、特に水野さんは親子でやるようになって言われてた、なんかそういうのあっていいですね。本当はそういうところでぜひこの総合計画、こういうの作ったんですので、子供達にもこういうこと、本来は計画っていうのは将来に向かってやることですから、次の世代の人達がちゃんと関わって理解しなきゃいけないんですよね。でも我々がまず理解するのが大変なような形になってるわけで、そこはちゃんとこれから地域創造学の中で取り上げていただくなり、考えていただければなというふうに思いました。あとそれから、この委員会のKPI としては、ぜひ高橋さんが住田町にきちんと住める場所を作っていく、それをKPI として、この計画がうまくいったかどうかを判断するというにしたいなというふうに思いますが、ということで以上第3回、何か事務局のほう、町長さんのほうからもしあれば。

**神田町長** 本当にありがとうございます。実は今の 5 ヶ年の最初は私も委員みたいなことで席に座っていたんで、皆さんのこともよくわかって、今立場変わって町長という。来年度の 5 ヶ年ですね、本当に今晚もいろいろご意見をうかがって、それを推進体制をどうするかという辺りも含めて、しっかり車を前に進めていかなきゃいけないというふうに思います。原動力になるガソリンは何かっていうと、町民の皆さん。そして役場職員。役場も実は来年度から人事考課の取り組みも変えていこうと、提案制度も入れていこう、やる気を出していこうというふうに思っていましたので、事業計画もまた新たな 4 月以降、計画では年 2 回くらいということで計画をしているようですけども、わからないことはわからないでいいと思います。しっかりご意見いただきながら、参考にさせていただければと思っています。大変ありがとうございます。

**大杉委員長** はい、ありがとうございました。それでは、特に皆様からなければ、第 3 回住田町総合計画推進委員会を締めさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

5. 閉会 20:30